

ジョロウグモ

8月の終わり頃から11月頃まで、家の周りでたくさん見られます。家の軒先や庭の木、電線、街灯の周り等に、たくさん網を張ります。木の多い神社やお寺でも多く見られます。

体は2~3cmと大きく、黄色と黒色のしま模様の背中とお腹には赤い斑点があり、とても目立つおしゃれな色をしています。

クモの網は円い一枚の網を張ることが多いですが、ジョロウグモの網は前や後にバリヤーといわれる網があり、立体的な網を作ります。糸は黄色く、とても頑丈です。

大きな網の真ん中にいるのは全部メスで、オスは小さい頃は自分で網を張りますが、大きくなるとメスの網にすることが多くなります。



富士市の現状

富士市内のどこでも見ることができます。家の周りや神社、お寺、街灯の周りを探してみましょう。網は大きいため、広い空間が必要なり、高いところにすることが多く、エサをたくさん捕りやすい街灯の周りや、用水路の周りに多いです。人がいないところでは少ないようです。

ジョロウグモを確認したメッシュ

